

## 第4回検討会（平成25年4月19日開催）における意見と対応

## ○資料3 「運輸政策審議会答申未着手路線の検討」について

No	意見	対応
1	10 ページで「累積の資金収支は黒字転換すると試算された」とあり、幅をもって示されている。どういう条件で出したのか、正しく理解できるように書いていただきたい。	とりまとめ案の参考資料に、新規路線の概算事業費、収支採算性の試算条件を記載した。
2	14 ページで「概算事業費は、概ね 6,600 億円から 7,200 億円と試算された」とあり、600 億円くらい違って1割の幅があるが、キロあたり平均単価にしたときには 170 億円から 240 億円であり、これは1割以上幅がある。どういう計算によってこの違いが出てきているのか、分かるようにする。	

## ○中間まとめについて

No	意見	対応
1	6 ページに検討会の名簿が出ているが、フルネームで、所属と名前があるほうが良い。	該当箇所を修正した。
2	19 ページの答申路線の検討で「事業の意義・必要性（役割）」が書いてあるが、東海道貨物支線の旅客線化のみ既設線の混雑緩和が書いてあって、他の2路線については触れていない。 そして20 ページを見ると、東海道貨物支線の旅客線化の効果のところでは、既設線の混雑緩和はない。ネットワークができたときにどうなるのかといったことをどこかで触れないと的外れになるのではないか。	東海道貨物支線の旅客線化等については、路線の多重化により、並行する鉄道路線の混雑緩和が見込まれると考え、役割として記載している。

○資料4 「鉄道整備・交通体系の検討（概要）」について

No	意見	対応
1	<p>資料4-1の6ページ、7ページのところにeアンケートの結果が出ている。市民の意見として「災害に強い鉄道」や「混雑緩和」が比較的多く出ているが、鉄道の整備効果の議論のときに、混雑緩和はどうか、既設線の耐震性はどこまで改良が進んでいるのかという話はあまりやっていない。アンケートが市民の意見を正しく反映していると仮定するならば、少しこれに答えるようなものをどこかに用意しないとイケないのではないか。</p>	<p>とりまとめ案 P.32 の方向性⑤「快適な移動サービスの提供（車内環境の向上・混雑緩和）」、P.33 の方向性⑥「災害に強い移動サービスの提供」において、現況や課題を整理した上で方向性を示した。</p>
2	<p>混雑問題も早晩無くなるということではなさそうなので、引き続きテーマとして、方向性としても十分に考えていかなければならないのは間違いない。</p>	
3	<p>横浜市の上位計画との整合性のある目標設定に対して、適切な手段選択というか施策を、鉄道側として、あるいは公共交通として、どういうことであつたらいいだろうかというのが書かれていくのが交通体系の方向性なのであろう。その間を埋めていくような、将来の目標があつて、目的があつて、それに対して鉄道として何をしなければいけないのか、「何のために」というところを議論してきたはずだから、そこをもう一度入れてもらいたい。</p>	<p>とりまとめ案 P.20 以降の「1 鉄道を軸とした交通体系の方向性」において、「都市づくりの目標と、都市構造及び部門別方針」と「鉄道を軸とした交通体系の方向性」との関係を示した。また、現況や課題を整理した上で方向性を示した。</p>
4	<p>鉄道なり公共交通が、市民生活、まちづくりにどういう役目を果たしていくのか、というところが上手く分かるように書くのは難しいが、社会状況の変化と方向性の間に、「何のために」というところを加えると、分かり易くなるのではないか。</p>	
5	<p>「何のために」に対応する施策を行うかということであり、そのことでどれだけ防災力は高まるのか。環境面・エネルギー面はどんな有利なことがあるのかというような、簡単なアセスが一緒に出来ると良いと思う。</p>	<p>とりまとめ案では、「鉄道を軸とした交通体系」の方向性を整理した。今後、具体の事業を進めるにあたっては、評価の指標化や指標の数値化を試みる。</p>

No	意見	対応
6	資料4-1の3ページで示されている「主要な生活拠点」や「緑の10大拠点」と答申路線の絡み方がどうなっているのか、一目でわかるようなものがあるとより分かりやすい。鉄道、交通体系とどう絡んでいるのかを知りたい。	主要な生活拠点や緑の10大拠点と新規路線の位置関係を整理した。
7	都市計画マスタープランにおいて環状方向の軸が今回消えている。都市の将来の方向性として、拠点を結んでいくことも引き続き大変重要であると位置付けてくれると、その間は鉄道だとかたるべき交通手段等々で結んでいこうと位置付けができるが、上位計画としてそこがないと、鉄道のほうだけで結んでいくというわけにもいかない。	<p>現行の都市計画マスタープランにおいて、都市構造図に「環状軸」の記載はないが、運輸政策審議会答申路線を「都市交通の方針（鉄軌道）」に示している。</p> <p>とりまとめ案 P.28 の方向性①「都市構造の変化を促す鉄道ネットワークの構築」において、方向性を整理した。</p>
8	都市計画マスタープランにおいて、都心部については横浜と新横浜の軸を強化するという話と、拠点駅はそれぞれ主要な拠点としてある程度コンパクトなまちづくりを、そこを中心にやっていく意味合いがある。この拠点間を効果的に連絡する交通の整備について、少し補強をしていかないと環状鉄道としての意味合いが出てこないという気がする。	
9	資料4-1の30ページの整備制度の検討で、地下高速鉄道整備事業費補助と都市鉄道利便増進事業費補助が入っているが、これ以外のスキームや支援の仕方といった制度のあり方は考えないのか。	今後、具体の事業を進めるにあたっては、新たな整備制度の仕組みを検討する必要があり、とりまとめ案の今後のとりくみに記載した。

No	意見	対応
10	<p>資料4-1の30ページの補助制度の説明で、例えば、地下高速鉄道整備事業費補助については、「地下区間以外には原則として適用されない」とあるが、そういうことはない。ほとんどが地下式構造の路線については基本的に路線として補助金を認めている。</p> <p>都市鉄道利便増進事業費補助の「新規の地下鉄は補助対象にならない可能性がある」とあるが、短絡線的なつなぎ方をした場合には補助が使える。</p> <p>書き方を変えるか、もしくはただ単純に補助名等を出しておく位にしておいた方が良いのではないか。</p>	<p>該当箇所を修正した。</p>
11	<p>資料4-2の6つの内容の議論は、一定程度時間を決めて答えを出すものと、一定程度時間をかけながら検討を進めなければいけないものと、状況を見ながら引き続き整理してもらいたい。</p>	<p>とりまとめ案 P.16 に、検討の位置付けを示した。</p> <p>とりまとめ案では「鉄道を軸とした交通体系」の方向性を整理した。バス交通など、おもに郊外部における地域の交通については引き続きまちづくりと合わせて検討を行う。</p>
12	<p>この検討会では、実際にバスも含めた総合的なものを最終的にとりまとめてアウトプットで出される予定なのか、それとも答申に関する鉄道の答申路線に関するものという形で出されるのか、その辺の整理はどうなっているのか。</p>	
13	<p>横浜市都市交通計画の見直しも始まってきており、別の検討会でやるとか役割分担を上手く整理して、何が何でも全部をあと1回でというのは無理があると思うので、柔軟に対応した方が現実的だと思う。</p>	
14	<p>中間まとめについては従来やってきたことをとりまとめたということで、内容的には結構だろうということである。</p> <p>今後の残された課題をどう検討していくかについては、時間的に限られているかもしれないが、今日の意見を踏まえて、スケジュールについても見直しが必要であれば是非やっていただきたい。</p> <p>それから、他でやれるというものであれば、そういう整理をするのも結構だと思う。</p>	

No	意見	対応
15	<p>既設路線の混雑状況の推計結果について分析をしたものを議論したい。</p> <p>鉄道の耐震性がどうなっているのか、あるいは河川との関係であるとか、幾つかのリスクのあるところはないのか、見てみたい。</p> <p>そして、鉄道の問題を道路・まちづくりと一体と考えると、踏切が今どういう状態になっているのか。駅前広場はどういう計画になっていてどこまで出来ているのか、そういう情報をまず頭の中に入れて議論をしたい。</p>	<p>とりまとめ案 P.20 以降に、鉄道を軸とした移動に伴う 4 つの要素と 13 の項目に分類して、「鉄道を軸とした交通体系の方向性」を示した。</p> <p>なお、P.31 の方向性④「安全で安定した移動サービスの提供（定時性の確保・安全性の確保）」、P.32 の方向性⑤「快適な移動サービスの提供（車内環境の向上・混雑緩和）」、P.33 の方向性⑥「災害に強い移動サービスの提供」、P.38 の方向性⑩「鉄道とバス等との乗り換え利便性の向上（駅前広場の整備・情報提供）」において、現況や課題を整理した上で方向性を示した。</p>
16	<p>ここで全部できるかは別にしても、課題が全部整って、初めて体系的で、あるいは長期的な対応が出来るのは間違いないので、頭出しの整理をやってほしい。</p>	
17	<p>中間まとめは、18 号のフォローアップから入って分析していて、これはこれで一つの成果という印象を受けた。</p> <p>今後の鉄道の方向性・交通体系の方向性というところでは、鉄道のニーズを考えると、ユーザーがどのようなことを今感じているのかといったことを踏まえて方向性が出れば、良い調査、検討ができるのではないか。</p>	<p>鉄道や駅に関する改善ニーズを把握するため、市民を対象としたヨコハマ e アンケートを 9 月～10 月に実施し、交通体系の方向性を検討する上で参考とした。</p>